

「鑄造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と 実際の現場での活用事例の演習」

ご 案 内

主催：一般財団法人 素形材センター

鑄造不具合を、繰り返し起こっているような慣例化した不具合名で、処理してしまっている事は多くないでしょうか？真の不具合原因を突きとめる事ができなければ、正しい対策を打つことはできません。鑄造は、液体から個体への相変態を伴う加工法であるために、他のものづくりとは異なる鑄造独特の不具合の傾向とその分類手法があります。本セミナーの「新なぜなぜ分析手法」は、不具合品を、**場所**「部分・全体・内側・外側」や**様子**「模様・穴・異物」**形態**「平滑・ギザギザ・自形・他」で分類し、最後に**因子**「鑄型・溶湯」に分けて考察することにより、正しい不具合名とその主たる原因を見つけ出す、QC手法とは異なる鑄造独特の新しい不具合解析の手法です。

本セミナーはグループ討議を通じて「新なぜなぜ分析手法」を体感して頂く内容となっております。鑄造欠陥特有の分類手法で欠陥を分類し、名医のように欠陥の原因と対策ができる技術者を育てる事を目的とした講座です。小中学生でも分類できる手法ですので、1人でも多くの鑄造に関わる技術者やユーザー及び商社関係の方々の参加をお待ちしております。ご多忙中とは存じますが、ご参加頂けますようご案内申し上げます。

●日 時 令和7年1月24日(金) 10:00～17:00

機械振興会館 地下3階 研修2号室 東京都港区芝公園3-5-8

●プログラム

コーディネーター (株)木村鑄造所 相談役 菅野利猛

開会の辞/オリエンテーション----- 10:00～10:10

1. 「新なぜなぜ分析手法」の説明----- 10:10～11:30
従来の QC や従来の「なぜなぜ分析」との違い、いくつかの不具合に対する「新なぜなぜ分析手法」の事例の紹介と説明

(株)木村鑄造所 相談役 菅野利猛

休憩(各グループで時間設定) ----- 11:30～12:30

2. グループ討議によるなぜなぜ分析の演習（不具合事例1）----- 12:30～14:00

(株)木村鑄造所 菅野利猛 / 講師補助調整中

3. グループ討議によるなぜなぜ分析の演習（不具合事例2）----- 14:00～15:30

(株)木村鑄造所 菅野利猛 / 講師補助調整中

4. グループ発表/正解の解説及び各種相談事受け----- 15:30～17:00

(株)木村鑄造所 菅野利猛 / 講師補助調整中

*状況によっては、オンラインでの開催、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。



参加者の感想 (R5年2月実施)

- ・各社で製法が違い、いろいろな考えがあった。その中でたくさんの意見が出て議論ができてとても勉強になった。
- ・様々な企業の方と不良について話す機会はなかなかないので貴重な経験となった。
- ・欠陥対策は永遠の課題であり、今回対策のフレームワークを実施できたことで対策の掛ける工数を低減できるのではないと思う。

参加要領

◇定員 30名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費 19,800円 (消費税込み)

素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員は、50%割引。

(協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。)

※開催前日まで受講取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。その場合テキストはお送りいたします。

◇申込方法

下記申込書に所要事項記入の上、E-mailでお申込み下さい。

素形材センターホームページからもお申込み可能です。<https://www.sokeizai.or.jp/pages/112/>

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301号室

一般財団法人 素形材センター 企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp 電話 03(3434)3907

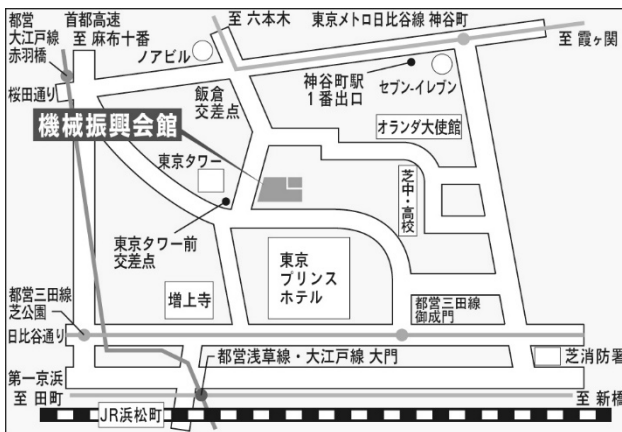
◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書と参加証を郵送いたします。

(領収書を必要とする場合は申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。)

◇申込締切 令和7年1月16日(木)

◇会場案内図



地下鉄：東京メトロ日比谷線神谷町駅下車(徒歩8分)、都営三田線御成門駅下車(徒歩10分)、都営大江戸線赤羽橋駅下車(徒歩10分)、都営浅草線大門駅下車(徒歩15分)

JR：浜松町駅下車(徒歩17分)

バス：浜松町～東京タワー路線東京タワー前下車

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。

また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

(※ 会場では、一切の録音、録画をお断りします。予めご了承下さい。)

申込書 素形材センター企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp

素形材技術セミナー 鋳造欠陥における「新なぜなぜ分析手法」と実際の現場での活用事例の演習

申込日 令和 年 月 日

会社名			
住所	〒		
電話番号	所属区分をご記入ください		
E-mail	ア. 素形材センター特別賛助会員 イ. 素形材センター一般賛助会員 ウ. 上記いずれも該当せず (素形材センター協賛会員含む)		
受講者氏名	ふりがな	鋳造関係業務	
		経験年数	
所属部署・役職			
備考			

*メールマガジン 購読希望

素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。

定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。